

「歌の集い」演奏会

日本声楽発声学会 2019 年度夏季研修会 D 講座

■ 2019 年 8 月 20 日 (火) 13 時開演 1 2 時半開場 1 5 時半終演

■ 日本福音ルーテル東京教会 2 階聖堂

■ 入場料 : 2,000 円 (自由席)

■ 出演者・曲目

司会 豊田 喜代美

○ 林 いのり Inori HAYASHI,ソプラノ 田丸 結菜 Yuna TAMARU,ピアノ

- ・Sul fil d'un soffio etesio(季節風の息吹にのって)歌劇《ファルスタッフ》よりナンネッタのアリア:G.ヴェルディ作曲
- ・Lieder und Gesänge aus 'Wilhelm Meister' ("ヴィルヘルム・マイスター"による歌曲集)作品 98a より
 1. Kennst du das Land (君よ知るや南の国) 3. Nur wer die Sehnsucht Kennt (ただ憧れを知る人だけが)
 5. Heiss mich nicht reden(わたしに語らせないでください) 7. Singet nicht in Trauertönen (悲しい調子で歌わないで) 9. So lasst mich scheinen (このままの姿にしておいて) : R.A.シューマン作曲 J.W.ゲーテ作詞
- ・L'Air des bijoux (宝石の歌),歌劇《ファウスト》よりマルガレーテのアリア : C.F.グノー作曲

○ 西浦 美佐子 Misako NISHIURA,ソプラノ 遠藤 志葉 Yukiyo ENDO,ピアノ

- ・Vocalise (ヴォカリーズ) Op.34,No14 : S.ラフマニノフ作曲
- ・Ständchen (セレナーデ) D.957:F.シューベルト作曲 L.レルシュターフ作詞
- ・風の子供:中田喜直 作曲 竹久夢二 作詞
- ・La chanson d'Olympiq (オリンピアの唄), 歌劇《ホフマン物語》よりオリンピアのアリア:J.オッフェンバック作曲

○ 金谷 めぐみ Megumi Kanaya,ソプラノ 中島 裕子 Yuko Nakajima,ピアノ

- ・Je dis que rien ne m'épouvante(不安にさせるものなどない),歌劇《カルメン》よりミカエラのアリア : G.ビゼー作曲
- ・Roi de Thulé—Ah! je ris de me voir si belle (トゥーレの王—なんと美しいこの姿), 歌劇《ファウスト》よりマルガレーテのアリア : C.F.グノー作曲

□ 休憩 10 分

○ 鈴木 慎一郎 Shinichiro SUZUKI,バリトン 林 翔子 Shoko HAYASHI,ピアノ

- ・《夏の思い出》中田喜直 作曲 江間章子 作詞
- ・《夏は来ぬ》小山作之助 作曲 佐佐木信綱 作詞
- ・《浜辺の歌》成田為三 作曲 林古溪 作詞
- ・《どんぐりころころ》梁田貞 作曲 青木存義 作詞
- ・《とんび》葛原しげる 作曲 梁田貞 作詞
- ・《われは海の子》(文部省唱歌)
- ・《風の子供》中田喜直 作曲 竹久夢二 作詞
- ・《汽車ポッポ》草川信 作曲 富原薫 作詞

○ 淡野 弓子 Yumiko TANNO,メゾソプラノ 菅 哲也 Tetsuya KAN,オルガン

奥村琳 Rin Okumura/小穴晶子 Akiko Koana,ヴァイオリン 二宮昌世 Shosei Ninomiya,ヴァイオリン

淡野 太郎 Taro TANNO,指揮 ハインリヒ・シュツツ合唱団・東京

- ・《Kleine geistliche Konzerte(小宗教コンチェルト集)》よりSWV282
Nr.1 Eile, mich, Gott, zuerretten (神よ、速やかに私を助け出してください)
H.シュツツ作曲 ダヴィデの詩編70; 2-6 M.ルターによるドイツ語訳 ※ 演奏:M.Sop+Org
- ・《教会カンタータ 第170番》BWV170より
Nr.3 Arie :Wie jammern mich (いかばかりぞや、わが悲嘆)
J.S.バッハ作曲 G.Ch.レームス詩 ※ 演奏: Alt, Vn & Va +Org
- ・《Litania 連祷》SWV458
H・シュツツ作曲 詩:中世の連祷 M.ルターによるドイツ語訳 ※ 演奏:M.Sop,Chor+Org

■ レクチャー・演奏

講師：川村 英司 Eishi KAWAMURA,バリトン 東 由輝子 Yukiko HIGASHI,ピアノ

- ・タイトル：自然であること！不自然にならないこと！
- ・R.Schumann , J.Hoven : Du bist wie eine Blume (H. Heine)
作曲家がいかに原詩に手を加え詩の意図を変えて作曲したか、変えない場合の内容表現はどうか。
- ・J.Brahms : Nicht mehr zu dir zu gehen (Daumer), Botschaft (Daumer)
歌の表現をすることとはどのようなことなのか？個性的な表現は重要である。
- ・H.Wolf : Und willst du deinen Liebsten sterben sehen (aus Italienischen Liederbuch von Heyse)
ヴォルフの作品中最も美しいとされるメロディーは、強調する言葉が同じ八部音符でも当然の事ながら微妙に長さを違えて歌う。
- ・F.Schubert : An die Musik (Schober)
川村英司が最も得意とし折々に歌ってきた、シューベルトの歌曲の中で最も有名な本曲を最後に取り上げる。